



たけた

市議会だより

No.75

令和7年2月1日発行

TAKETA

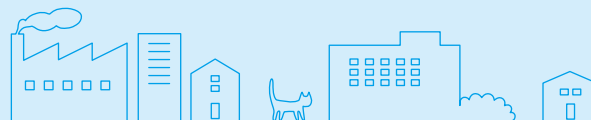
Gikai News



竹田市議会

- 一般質問 2～7
- 予算特別委員会 7
- 議決結果 8
- 行政視察報告 9～11
- 市民との意見交換会 12
- 市営温泉施設の課題と展望 13

国指定史跡 岡城跡追手門



12月5日・6日、10人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。



阿部 雅彦

地方創生について

Q 人口減少をくい止める取組についてはどのような総括をしているのか。

A 就業や就農支援の取組をはじめ子育て支援、移住希望者への補助制度について第3期地方創生TOP総合戦略の中でさらなる充実強化を図る。

Q 賃金や雇用面の取組についてはどうか。

A 雇用については一定の効果が上がっているが、賃金面を含め地場産業の支援や企業誘致の取組の中でさらなる環境改善を図る。

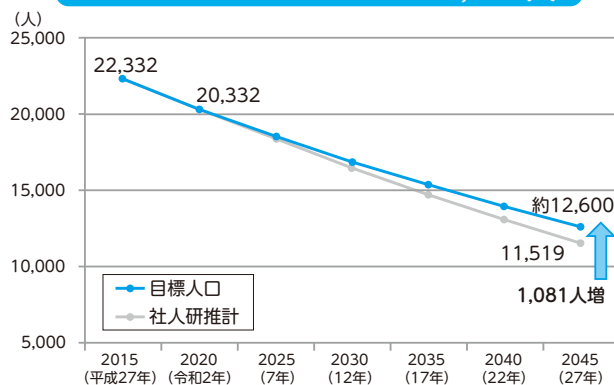
Q ジェンダーギャップ解消の取組についてはどうか。

A 竹田市も女性の転出が顕著なことから、多様なライフスタイルの構築に取り組み、女性が暮らしやすく、働きやすい環境づくりを目指す。

用語解説

※ジェンダーギャップ…男女の違いによる格差のこと

2045(令和27)年 目標人口 12,600人



第2次竹田市総合計画から抜粋

その他 質問

- ・竹田市教育大綱について
- ・スポーツ振興について



なお、原稿は質問議員本人が執筆しています。



🎙️ 後藤 建一

安心安全なまちづくりについて

Q 竹田市内で発生している特殊詐欺の具体的な件数や傾向についてどう把握しているか。

A 竹田警察署からの情報では、令和4年度が4件、被害金額232万7千円、令和5年度が7件、被害金額1,154万円、令和6年度については、10月末現在で2件、被害金額264万円。架空請求による詐欺被害がほとんどであり、被害にあわれた方の年代は、60歳以上の方が大半を占めている。



Q 市民の財産と安全を守る対策にどう取り組むか。

A 大分県警察及び竹田市防犯協会連合会と連携し、防犯パレード等の街頭啓発活動、自治会へのチラシの配布、広報たけたへの掲載などを行っている。市内で詐欺が疑われる事例が発生した場合は、IP告知放送による注意喚起を行っている。特殊詐欺等防止機能付き電話等を購入した場合、その費用の一部を補助している。



令和6年度防犯パレード

その他
質 問

- ・児童生徒の読書環境について
- ・市立図書館の施設管理と課題について



🎙️ 工藤 忠孝

ビジネスケアラーについて

Q ビジネスケアラーへの支援をどのように取り組んでいくか。

A 経済産業省では、仕事をしながら家族の介護に従事する諸課題の対応として「企業経営と介護両立支援に関する検討会」を開催している。今後、国の動向を注視していく。

無電柱化事業について

Q 無電柱化に伴う交流人口・観光客誘致をどのように評価しているか。

A 竹楽では無電柱化事業による景観の改善が観光客に好印象を与え、人出が多くなった要因の

ひとつと考えられる。今後も観光部局と連携しながら無電柱化によって創出された空間を活用し、交流人口の増加に向けた取組を行っていく。



無電柱化(下本町)

農業振興について

Q 米価の上昇をどのように分析しているか。

A 米価の上昇は農家にとって喜ばしいが、急激な価格上昇に伴う米離れが危惧される。全国ではWCSや飼料用米から主食用米へ転換する動きもあることから、需要と供給のバランスが崩れることも考えられる。今後の動向を注視していく。

用語解説

- ※ビジネスケアラー…仕事をしながら家族の介護に従事する人のこと
- ※WCS…牛の飼料用にする稲のこと



🎙️ 賀籠六 めぐみ

竹田市地域公共交通計画について

Q 実証運転の実情と今後のひろがりとは。

A 実証運転期間は三年間である。一定の効果は見られるが、まだまだ利用者が少ない。利用者を増やすために周知方法の工夫をしていく。今後、直入地域について実証運転を検討する。

Q 公共交通の利便性が確保されていない自治会への対応は。

A 予約型乗り合いタクシーの拡大やコミュニティバス路線のダイヤ改正などで利便性の確保に努めたい。



遊休農地問題への対応策について

Q 基盤整備された後に、有休農地になっている面積を把握しているか。

A 面積、割合については、一筆ごとの調査が必要であり、把握は難しい。台帳の整理を行い、把握に努める。

Q 営農者へ加入を勧めている収入保険にかかる保険料の補助を導入してはどうか。

A 市単独では難しい。県に対して強く働きかけていく。

用語解説

※収入保険…青色申告を行っている農業者が加入でき、経営努力では避けられない収入減少を補填する制度



🎙️ 上島 弘二

竹田市立こども診療所について

Q 竹田市立こども診療所医師は、昨年7月から毎日、市役所にて人事担当者と面談を続けているが、面談は円滑に行われているか。

A 真摯に丁寧な対応を行っている。

Q この面談の内容と対応等は。

A 面談は復職支援のために行われたものであり、個人のプライバシーに関するものがあるため、内容の公表については控える。

Q 診療所で勤務した職員の健康問題で、このような事態におちいった原因をどう把握し、どのように対応したか。

A 医師を含め3名の職員がこれまでに体調不良で病気休暇を取得している。診療所での働き方、働きせ方、人員体制など全般にわたって問題があった。この問題を解決するため、竹田市立こども診療所検討委員会を設置して審議していただいている。

Q 診療所の再開及び医師の職場復帰の期待は持てるか。

A 検討委員会の答申を踏まえ、運営方針が決定したら、現医師との協議を重ね、良い環境を整えて再開を目指したい。



竹田市立こども診療所



熊野 忠政

農作物の高温障害対策について

Q 気候変動の影響による農作物の高温障害について市の見解は。また対策についての取組はあるか。

A 県の短期集中県域支援品目であるピーマンについては、昨年度から高温障害による影響がみられ、機能性フィルムや遮光資材等の導入に対して助成をおこなっている。県では他の園芸品目についても、今年度中に高温障害対策など緊急支援事業を検討していく動きがある。詳細がわかり次第対応していく。



Q 高温でも品質や収量を保てる品種の選定や改良を進めるべきではないか。

A 高温耐性品種の選定、改良は必要と考えており、現在、トマト・ピーマンについては県の農業技術センターで実証を行っている。また、県や市の農業普及員、大分県農協とも協議を重ねている。今のところ、現行の品種以上に高温耐性のある品種の選定には至っていないが、今後検討を進めていく。



遮光資材等導入ハウス

その他
質問

・鳥獣被害防止対策について



阿南 智博

屋内プールの整備について

Q 竹田市では昨年8月の最高気温の平均が34℃で、10年前より4.7℃上昇している。小中学校は全て屋外プールであり水温や外気温の上昇により授業への影響が心配される。加えて老朽施設が多く、今後の維持経費も大幅な増大が見込まれる。市民の利用も視野に入れた屋内プール建設が必要ではないか。

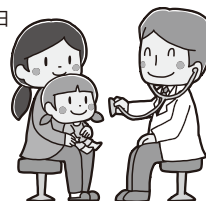


A 現状の1校1プール方式は維持費の面でも限界にきている。当面はプールの拠点校方式を検討する。市民も利用できる屋内温水プールを対象とした学校体育諸施設整備事業もある。しかし建築費や維持費は膨大となるため慎重な検討が必要と考えている。

竹田市立こども診療所について

Q 竹田市立こども診療所の再開に向け検討委員会以外の主体的取り組みと再開の用途は。

A 医師は過去の市の対応や言動に不信感を抱いており、いまだ医師との話し合いの土壌はできていない。議会の年度内再開を求める決議を重く受け止め、検討委員会の答申を受けて早期再開に努める。



その他
質問

・都市計画区域について
・地域の祭事について



山村 英治

畜産経営の現状と課題について

Q おおいた和牛のブランド力向上についての対策は。

A 但馬牛など日本三大産地では、肉質と成長の面からしっかり特徴づけを行っている。繁殖地域の竹田市においては、肥育においておいしい和牛肉になるような繁殖雌牛の産肉能力を上げること、種雄牛の交配をしっかりと進めること、歩留まりの良い牛を作るための育成技術の改良と飼養管理技術の向上をしっかりと行うことである。竹田市の飼養牛の潜在能力は非常に高いものがあり、枝肉共進会では、竹田産の牛が上位を占めて、産肉能力は高く評価されている。おおいた和牛をトップブランドに押し上げるために、しっかりとした生産体制の構築、ブランドの認知度の向上、そして何より大分県民に愛

される牛肉として育てていくために、流通団体、卸業者、生産者と協力し、大都市向けではなく県内宿泊施設や飲食業者をまきこむオール大分での対策が必要と考える。



その他
質問

・食と文化による地域創生について



鷲司 英彰

竹田市立こども診療所について

Q こども診療所検討委員会の役割は。

A ①診療所を働きやすい環境とするため改善すべき事項等について②解決すべき課題があるなら、それを繰り返さないようにするための体制作りについてを提言をいただくためである。



第1回検討委員会

Q 診療所のルール作りは誰の責務なのか。

A 検討委員会の答申を基に竹田市が決定する。

Q 診療所を再開できない一番大きな理由は何か。

A 検討委員会に諮問し答申を待っている状況である。設立以来、積み重なってきた課題を解決しないまま再開するわけにはいかない。新たな方針で再開させたい。



その他
質問

・グランツたけたの事業計画及び予算について
・クアハウスの運営状況について



渡辺 克己

水田活用の直接支払い 交付金について

Q 水田活用の直接支払い交付金は平成22年度に「米の直接支払交付金」に代わる制度として始まった。交付金の利用実績は。

A 戦略作物ごとの利用実績は次のとおりである。
(国費対象のみ)

作 物	団体数(経営体数)	面積(ha)	交付金額(千円)
麦	1	0.9	298
大 豆	7	48	16,867
飼 料 作 物	226	125	43,656
W C S	457	599	479,136
飼 料 用 米	25	90	73,353

Q 麦・大豆を水田で栽培した農家に対して、令和4年度から5年間（令和4～8年度）に水稲が作付けされなかった農地は交付金の対象外とす

る方針が決定された。交付金の対象とするための条件は。

A 令和7、8年度に水稲を作付けするか、対象水田を一定期間「水張り」をすることで交付対象水田となる。令和9年度以降も5年に一度の水稲の作付けか、水張りが必要である。（5年水張りルール）

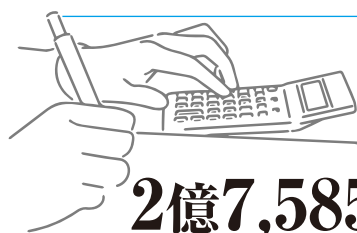
Q 5年水張りルールが農家負担になるのではないか。

A 交付対象外となる水田が少なくなるよう取り組む。



その他
質 問

- ・中山間地域等直接支払制度について
- ・国営大蘇ダムについて



第4回定例会 令和6年度一般会計補正予算

可決

2億7,585万円減額（総額：223億1,845万8千円）

令和6年第4回定例会・予算特別委員会が12月11日に開催され、付託された令和6年度一般会計補正予算第6号及び最終日に追加提案のあった令和6年度竹田市一般会計補正予算第7号を慎重審査した結果、全会一致で可決されました。

補正予算の概要

歳 出

- ◆総務費
移住定住支援事業 200万円
- ◆民生費
令和5年度の事業費確定に伴う障害福祉費等国・県負担金等返納金 3,758万8千円
住民税非課税世帯等給付金給付事業費 1億3,654万円
- ◆衛生費
浄化槽整備推進事業特別会計への繰出金 230万円
- ◆農林水産業費
畜産生産振興対策事業費 △3,500万円
畜産クラスター協議会事業費 △3,375万円
- ◆商工費
観光施設等管理費 50万円
- ◆土木費
道路維持補修事業費 1,000万円

◆消防費

防火水槽設置工事費 84万7千円

◆教育費

都市広域圏公共施設予約システム整備事業費 430万6千円

歳 入

分担金及び負担金 △1億6,162万5千円
国庫支出金 1億3,467万7千円
県支出金 △2億5,698万円
財産収入 629万9千円
寄附金 86万1千円
基金繰入金 1億4,818万5千円
諸収入 1,432万9千円
市債 △1億4,220万円

議決結果

令和6年

第4回定例会

令和6年11月29日～12月20日

議案等の議決結果

● 条例案

議案番号	件 名	結 果
議案第89号	竹田市コミュニティバス運行条例の全部改正について	可 決
議案第90号	竹田市市営住宅条例の一部改正について	可 決
議案第91号	竹田市水道事業給水条例の一部改正について	可 決
議案第92号	竹田市立保育所条例の一部改正について	可 決
議案第93号	竹田市身体障害児及びひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部改正について	可 決
議案第94号	竹田市立小学校設置条例及び竹田市体育施設条例の一部改正について	可 決
議案第95号	竹田市学校給食費徴収条例の一部改正について	可 決
議案第121号	竹田市職員の給与に関する条例及び竹田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可 決
議案第122号	竹田市長及び副市長の給与に関する条例及び竹田市教育委員会教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可 決
議案第123号	竹田市議会議員報酬及び費用弁償条例の一部改正について	可 決

● 予算案

議案番号	件 名	結 果
報 告 第 6 号	専決処分事項「令和6年度竹田市一般会計補正予算(第5号)」について	承 認
議案第81号	令和6年度竹田市一般会計補正予算(第6号)について	可 決
議案第82号	令和6年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第83号	令和6年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	可 決
議案第84号	令和6年度竹田市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第85号	令和6年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第86号	令和6年度竹田市水道事業会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第87号	令和6年度竹田市簡易水道事業会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第88号	令和6年度竹田市農業集落排水事業会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第116号	令和6年度竹田市一般会計補正予算(第7号)について	可 決
議案第117号	令和6年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第3号)について	可 決
議案第118号	令和6年度竹田市水道事業会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第119号	令和6年度竹田市簡易水道事業会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第120号	令和6年度竹田市農業集落排水事業会計補正予算(第3号)について	可 決

● 一般案

議案番号	件 名	結 果
議案第96号	財産の無償譲渡について	可 決
議案第97号	財産の無償譲渡について	可 決
議案第98号	竹田市と大分市との証明書等の交付等に係る事務の廃止に関する協議について	可 決
議案第99号	竹田市と別府市との証明書等の交付等に係る事務の廃止に関する協議について	可 決
議案第100号	竹田市と中津市との証明書等の交付等に係る事務の廃止に関する協議について	可 決
議案第101号	竹田市と日田市との証明書等の交付等に係る事務の廃止に関する協議について	可 決
議案第102号	竹田市と佐伯市との証明書等の交付等に係る事務の廃止に関する協議について	可 決
議案第103号	竹田市と臼杵市との証明書等の交付等に係る事務の廃止に関する協議について	可 決
議案第104号	竹田市と津久見市との証明書等の交付等に係る事務の廃止に関する協議について	可 決
議案第105号	竹田市と豊後高田市との証明書等の交付等に係る事務の廃止に関する協議について	可 決
議案第106号	竹田市と杵築市との証明書等の交付等に係る事務の廃止に関する協議について	可 決
議案第107号	竹田市と宇佐市との証明書等の交付等に係る事務の廃止に関する協議について	可 決
議案第108号	竹田市と豊後大野市との証明書等の交付等に係る事務の廃止に関する協議について	可 決
議案第109号	竹田市と由布市との証明書等の交付等に係る事務の廃止に関する協議について	可 決
議案第110号	竹田市と国東市との証明書等の交付等に係る事務の廃止に関する協議について	可 決
議案第111号	竹田市と日出町との証明書等の交付等に係る事務の廃止に関する協議について	可 決
議案第112号	竹田市と九重町との証明書等の交付等に係る事務の廃止に関する協議について	可 決
議案第113号	竹田市と玖珠町との証明書等の交付等に係る事務の廃止に関する協議について	可 決
議案第114号	竹田市菅生育苗センターの指定管理者の指定について	可 決
議案第115号	竹田市水の国のわくわく農園及び道の駅すごうの指定管理者の指定について	可 決
議案第124号	製造請負契約の締結について	可 決

● 議会議案

議案番号	件 名	結 果
議会議案第2号	竹田市議会委員会条例の一部改正について	可 決

令和6年度

総務常任委員会

行政視察報告

総務常任委員会

委員長 阿南 智博

令和6年11月6日から8日にかけて、京都府福知山市では廃校Re活用プロジェクトについて、京都府綾部市では空き家活用定住支援策について調査研究を行った。

京都府 福知山市

テーマ：廃校Re活用プロジェクトについて

京都府福知山市は人口7万4千人余りの市である。児童数の減少に伴う学校の再編により平成24年度には27あった小学校が約半分になり、16の廃校が発生した。福知山市が取り組む「廃校Re活用プロジェクト」について財務部資産活用課から説明をいただいた。

現在、行政利用2校、民間活用8校の計10校で学校用途以外の活用事業を行っている。行政利用としては、竹田市も行っている文化財保存庫及び消防詰所などの複合化施設としての利用だ。民間活用は店舗兼工場、キャンプ場や農業用施設など様々である。活用方針は、民間ニーズを尊重し賃貸・売却とも可能としている。賃貸の場合は、建物は無償とし土地は有償としている。

活用の流れで重視しているのは地域の同意と意見反映である。サウンディング型市場調査により情報収集や参入意向の把握を行う。次に公募型プロポーザルによる選考へ移行する手法である。また、「金融機関との公民連携促進に関する協定の締結」や「廃校マッチングバスツアー」などがメディアに注目され「廃校」を切り口としたシティプロモーションに貢献したとのことであった。



京都府福知山市



福知山市の廃校活用が注目を集め始めたのは、創業者が福知山市出身の和洋菓子製造販売会社が地域貢献として廃校を買い取り、店舗兼工場「里山ファクトリー」として、地域活性化に貢献いただいたことがスタートとなった。

京都府 綾部市

テーマ：空き家活用定住支援策について



京都府綾部市

二日目は「移住立国あやべ」を標榜する京都府綾部市で「空き家活用定住支援策」の取組について説明いただいた。綾部市は人口3万人ほどの市だが、人口動態を見ると竹田市同様に年間500人程度の減少が続いている。このため移住定住施策に力を入れており、空き家を活用した定住促進の各種事業は竹田市の方がきめ細かな対応が考えられている印象があった。竹田市の取組以外では、定住者の誘導施策として、市が空き家を借り上げ改修して管理しながら、定住希望者へ賃貸する制度を設けている。定住率は4割程度となっている。また、Uターンを促進する3040成人式を実施している。30歳、40歳の綾部出身者、在住・在勤、在住歴、在学歴の方を対象に同級生との絆を深め、ふるさとの良さを再認識してもらう取組とのこと。ほかにも地元住民や先輩移住者の生活を紹介する動画配信など考えられる施策は何でもやるという姿勢が印象的であった。

令和6年度

産業建設常任委員会

行政視察報告

産業建設常任委員会

委員長 池見 傑

令和6年11月12日から14日にかけて、大阪府富田林市では公民連携の水道事業を活用したマイクロ水力発電について、滋賀県近江八幡市では近江八幡市観光振興計画及びインバウンド対策について調査研究を行った。

大阪府 富田林市

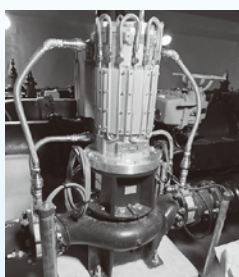
テーマ：マイクロ水力発電について

水道事業を活用したマイクロ水力発電について



大阪府富田林市役所の水道工務課から説明を受けた。富田林市には2か所の発電施設があり、市に入る売電収益は2か所で100万円程とのこと。この事業の興味深いところは市の発電施設設置に対しての負担がないことである。市が

所管する配水池等に民間のDK-Power(株)が行政施設利用料を支払い、発電施設を設置している。発電による売電収入は市と折半し、メンテナンス等の維持費も市が負担する必要がないのも魅力的である。現地視察した金剛東配水池ではDK-Power(株)の社員から施設概要や導入に係る地理的条件等について丁寧に説明いただいた。竹田市内にも水路等を活用した小水力発電施設は土地改良区単位で行われているが、ゴミ処理等に苦慮しているとの話も聞いている。竹田市に可能な水道施設があれば、ぜひともトライして欲しいと考える。



大阪府富田林市



滋賀県 近江八幡市

テーマ：観光振興計画・インバウンド対策について

滋賀県近江八幡市は織田信長が安土城を築いた地である。その他にも近江牛発祥の地でもあり、日本の東西を分ける琵琶湖に面した平坦で穏やかな地形は、まち歩きや自転車で周遊するにはとても適していると感じた。



滋賀県近江八幡市

今回の目的は関西圏の中で滋賀県の都市がどう観光振興に取り組んでいるか、観光振興計画について近江八幡市役所の総合政策部及び観光政策課に説明いただいた。近江八幡市の観光振興計画は令和5年3月に改訂され、①市民の暮らしへの影響とカタチの変化②まちづくりの精神継承時期の到来③近江商人の倫理の再評価が計画改訂の背景となっている。昔からの商家の多い新町通りを中心にウィリアム・メレル・ヴォーリズの建築物巡りや白洲正子ゆかりの地を訪れる企画等を通じて再来客を増やし様々な体験を通じての魅力を知ってもらうものであり、近江商人の精神の継承を実践されていることが伺えた。体験型コンテンツの醸成や中核を担うスポットの存在など竹田市の観光振興の参考としたい。



ヴォーリズと少女の像

令和6年度

社会文教常任委員会

行政視察報告

社会文教常任委員会

委員長 熊野 忠政

令和6年10月22日から24日にかけて、大阪府大東市では家庭教育支援及び子育て支援について、奈良県生駒市では介護予防事業及び部活動の地域移行について調査研究をおこなった。

大阪府 大東市

テーマ：家庭教育子育て支援について

大東市では、平成28年より家庭教育支援チーム「つぼみ」を立ち上げ、子どもの健やかな育ちの基盤である家庭において、保護者が安心して子育て及び教育を行うための支援事業を開始している。孤立の未然防止、地域とのつながりづくり、課題の早期発見、学びの提供、情報提供を目的として、事業活動方針を決定する地域協議会、事業運営をする基幹チーム、家庭訪問等を実行する相談・訪問チームで構成されている。小学校区ごとに12チームがあり、それぞれにスクールソーシャルワーカーを1名配置し事業に取り組んでいる。

また、子育て支援として、平成30年8月に子育て世代包括支援センター「ネウボランドだいとう」を開設し、福祉・子ども部と地域保健課、教育委員会の3部局が同一フロア内で連携し、母子保健、子育て、学校教育の支援をおこなっている。様々な年齢の子どもへの支援をワンストップで実現するための手段としては最適であると言える。来所の敷居が低く、役所っぽさもなく、まさに大東市のブランドメッセージのとおり「子育てするなら、大都市よりも大東市」であると強く感じた。



大阪府大東市



奈良県 生駒市

テーマ：介護予防事業について 部活動の地域移行について

生駒市は全国でも介護予防の先進地であり、地域包括ケアシステムの構築により、要介護認定率の低減・維持を目標としている。地域包括ケア推進課を担当課として、基幹型地域包括支援センター係、予防推進係、包括ケア推進係、地域共生サミット推進室の17人体制で、総合事業の推進など地域支援事業全般を担っている。高齢者問題を担当課だけの対応にせず、副市長の次に特命監を任命し取り組んでおり、全庁をあげてのまちづくり施策に高齢者の課題を包含するという考え方である。



奈良県生駒市

また、学校部活動の地域移行を見据えた「新たな地域クラブ活動」の推進として、学校や地域団体と連携した「ワンストップ支援体制の構築」に取り組んでいる。以前より、地域のスポーツ団体や関係者と連携し、市自体のスポーツ推進計画の各施策を進めてきたことで、自然な流れで受け皿組織ができていたが、課題は運営経費の捻出であるとのこと。本市においても、運営経費の確保と指導者・受け皿団体の確保が一番の課題であり、今後しっかりとした取り組みが必要である。



市民との意見交換会

産業建設常任委員会 × 竹田市農業委員会

令和6年11月6日、市議会委員会室において、鳥獣害対策や新規就農をテーマに各地区の農業委員会委員（13名）と意見交換を行った。

意見交換の中では次のようなご意見やご要望をいただいた。

①鳥獣害対策について

- 猟友会の無い地区に対する対応策。
- 捕獲報奨金の増額による猟友会の活性化。
- ジビエ等の食肉処理をする施設の充実。
- 金網柵の設置について、高齢化に伴い設置作業が困難な地域への支援。



②新規就農について

- 新規就農者に対し空き家バンク等と連携した農地付きの空き家の紹介支援。
- 親元就農の奨励補助金等の活用。

この他にも定期的に意見交換会を行ってほしいなどの要望もあった。今後も様々な課題を共有して執行部にも働きかけていきたい。

産業建設常任委員会

委員長 池見 傑



社会文教常任委員会 × 暮らしのサポートセンター連絡協議会

令和6年11月18日、宮砥分館において、暮らしのサポートセンター連絡協議会（約20名）との意見交換会を行った。竹田市は高齢化率が約50%で要支援、要介護者が急増している。行政では手の行き届かない、ちょっとした困りごと等の生活支援を、市内7エリアの暮らしのサポートセンターが担っている。「できる人ができる時にできる範囲で」をモットーに活動しているが、どこのエリアも活動会員、賛助会員が不足しており、併せて利用会員も増やす必要がある。人材不足と併せて活動経費の不足もあり、合同通信等の発行経費負担や、活動会員や



利用会員が増えるようケーブルテレビ等を利用し市民にアピールしてほしいとの強い要望があった。

また、利用会員の中には認知症の人が増えており、予防対策はいろいろと取り組んでいるが、認知症になってからの対策、援助が何もないので支援願いたいとのこと。

議会としても、暮らしのサポートセンターに対して理解を深め、会員不足などの課題解決に向けて執行部に働きかけていきたい。

社会文教常任委員会

委員長 熊野 忠政



竹田温泉花水月



荻の里温泉



長湯温泉療養文化館御前湯

市営温泉施設の 課題と展望

～特別委員会が調査結果を報告～

議会の特別委員会として活動を続けてきた温泉施設管理運営等調査特別委員会が、このたび所管の調査を終了し、最終報告を提出しました。ここでは、その内容の一部を市民の皆様にご紹介させていただきます。

なお、委員会は設置目的を達成したことから、解散する運びとなりました。

温泉施設管理運営等調査特別委員会 最終報告書

- 設置年月日 令和6年3月19日
- 委員数 14人
- 開催回数 7回
- 調査事件 市営温泉施設の管理運営等に関する調査
- 調査対象となった施設
 - ①竹田温泉花水月
 - ②荻の里温泉
 - ③長湯温泉療養文化館御前湯
- 調査結果及び意見等

温泉施設管理運営等調査特別委員会は、市営温泉施設の管理運営等に関する詳細な調査を実施しました。その結果、各施設で深刻な課題が浮き彫りとなりました。まず、施設の老朽化が進行しており、大規模な改修が避けられない状況です。

また、階段のすべり止めや安全誘導サインの不足など、安全面での改善が急務となっています。経営面では、全施設で赤字が継続しており、抜本的な改善策が求められています。さらに、インターネットやSNSを活用した効果的な広報戦略が不足しており、各施設の魅力を十分に発信できていません。加えて、地域特性を活かした差別化戦略も不十分で、各施設の独自性が発揮されていない状況です。

これらの課題に対し、委員会は具体的な対応策を示しました。計画的な施設整備と安全対策の強化、施設規模の最適化と運営方式の見直し、料金改定や付帯サービスの充実による経営改善、地域特性を活かした差別化戦略の展開、効果的な広報戦略の構築などが主な内容です。また、環境保護と持続可能性の追求、利用者サービスの向上も重要な要素として挙げられています。

委員会は、これらの対応策に基づいた具体的な取組が実行されることで、市民の健康増進と地域活性化に寄与する持続的な温泉施設運営を期待しています。今後も議会として執行部との連携を密にし、状況変化に応じて柔軟に対応していく方針です。

温泉施設管理運営等調査特別委員会

委員長 本田 忠



会議風景



委員長から議長へ報告



議長から市長へ報告



【午前の部出演議員】

歳末助け合い チャリティショー

報告



【午後の部出演議員】

今回の演目は昭和時代の児童文学の 名作「泣いた赤鬼」でした。

友情や思いやりの大切さを伝える格好の素材で、学校の教科書にも採用されてきた作品です。議員全員が2班に分かれ、ダブルキャストで演じました。

村人と仲よくなれず落ち込んでいる赤鬼に、友達思いの青鬼が力を貸し、その後青鬼は姿を消しました。赤鬼が青鬼の家を訪ね、青鬼が旅に出たという手紙を見た赤鬼はしくしくと泣き続けたというお話です。原作はここで終わりですが、市議会のオリジナルとして、赤鬼は村人と一緒に青鬼を探し出し、みんなで楽しく暮らすようになりハッピーエンド。最後は赤鬼と青鬼のタンゴを出演者全員で踊り締めくくりました。

リハーサルまでは、全員そろっての練習もできなく、不安をかかえての本番入りでした。小さなハプニングはいくつかありましたが、皆さん一人ひとりの個性を十分発揮し素晴らしい演技ができたと思います。

皆さまのご支援・ご協力ありがとうございました。

社会文教常任委員会

委員長 熊野 忠政

令和7年第1回(3月)定例会日程のお知らせ

令和7年第1回(3月)定例会の議会日程(予定)をお知らせします。

- 2月19日(水) 議会運営委員会
- 2月26日(水) 本会議(議案の上程、諸報告ほか)
- 3月 3日(月) 本会議(一般質問)
- 4日(火) 本会議(一般質問)
- 5日(水) 本会議(一般質問)
- 10日(月) 本会議(質疑、委員会付託ほか)
予算特別委員会
- 11日(火) 予算特別委員会
- 12日(水) 総務常任委員会
- 13日(木) 産業建設常任委員会
- 14日(金) 社会文教常任委員会
- 18日(火) 議会運営委員会、全員協議会
本会議(委員長報告・採決ほか)

※会議の日程等は変更になる場合があります。

※その他、議会情報は竹田市議会ホームページをご覧ください。

記事の訂正とお詫びについて

たけた市議会だより第74号(令和6年11月1日発行)の第10頁「任意制選挙公営制度の導入について」の掲載記事に誤りがありましたので次のとおり訂正しお詫びいたします。(該当箇所 10頁2段落7～9行目)

誤 … 大分県においても14市の中で8市が既にこの条例を制定しており、竹田市を除く残りの5市も導入に向けて検討中である。

正 … 大分県においても14市の中で8市が既にこの条例を制定している。

写真提供者

後藤 俊治 氏

竹田市在住

Profile

大分県美術協会写真部常任委員・招待会員

「市議会だより」についてのご感想をお寄せください。

頂いたご感想を今後の誌面構成等に活かして参ります。

発行：竹田市議会

編集：竹田市議会だより編集委員会

竹田市大字会々1650番地

TEL：0974-63-4813



竹田市議会

「たけた市議会だより」は、環境に配慮した再生紙を利用しています。